

# 英語科学習指導案

令和5年9月 日( ) 校時

## 1. 単元名 PROGRAM 4

### SUNSHINE ENGLISH COURSE 2

## 2. 本単元で扱う領域における「CAN-DO リスト形式」による学習到達目標（第2学年）

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
ア	はっきりと話されれば、天気予報などについて、必要な情報を聞き取ることができる。	製品の取扱い方などについて、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。	映画、テレビ番組などについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	映画、テレビ番組などについて、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。	映画、テレビ番組などについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。
イ	はっきりと話されれば、最も思い出に残っている学校行事などについて、話の概要を捉えることができる。	外国の中学生が紹介する学校生活のことなどについて、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。	生徒の興味・関心の対象となることなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	生徒の興味・関心の対象となることなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	生徒の興味・関心の対象となることなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。
ウ	はっきりと話されれば、エネルギー問題などについて、短い説明の要点を捉えることができる。	自然環境問題などについて、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。	エネルギー問題などに関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	I C Tの普及などに関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	世界情勢や科学技術などに関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

## 3. 単元における指導構想

### ○教材観

本単元は、エミリー、エミリーの父ジャックが様々なものを比較しながら、人類が自然環境からヒントを得て科学の発展を遂げていることについて対話する内容となっている。

言語材料としては、葉の大きさ、鳥の美しさや、新幹線の速さなどについて説明する時に様々な比較表現が用いられている。

したがって、登場人物たちの対話を参考に、自分たちの身の回りのものについて詳しく説明する際、比較表現を使うことで、相手にわかりやすく伝えたり、たずねたりする力を養うことができるものと考

える。

#### ○生徒観

本学級の生徒は、1年生の時から Small Talk や言語活動などを積み重ね、英語を聞くことや話すことに慣れ親しんでいる。2年生でもその土台を生かし、継続的にペアでの活動を取り入れ、繰り返し言語活動に取り組ませてきた。元気がよく、自分のことを積極的に話す生徒が多く、ペア学習では失敗を恐れず、時間いっぱい話そうとする姿が見られる。しかし、相手の言ったことを受けて対話を深めようとする姿勢や自分の考えや気持ちをわかりやすく伝えようとする粘り強さには課題が残る。

そこで、本単元では、生徒達にとって身近な学校生活についての言語活動を行いながら、積極的で前向きな人間関係を築こうとする生徒を育てたい。

#### ○指導観

本単元では、人類が自然や動物からヒントを得て科学を発展させてきた話題が扱われており、比較表現を用いながら相手に伝えたり質問したりする学習を通して、具体例を用いることで相手によりわかりやすく伝えられる力を養うのに適した内容となっている。

そこで、言語活動として、自分たちの身近な学校生活の出来事などをもとに、比較表現を用いてわかりやすく発表する、「話すこと [発表]」に焦点を当てた指導を行う。

単元終末の言語活動としては、ALT に自分達の学校生活について知ってもらうために、学校生活のことに関したアンケートを作成し、結果をまとめ、自分達の考えなども交えて発表する活動を行い、相手にわかりやすく伝えられるように比較表現などを用いて発表できるよう指導する。そして、自分の思いが伝わることの喜びに気付かせたい。

#### 4. 単元の目標

ALT に自分達の学校生活について知ってもらうために、学校生活に関したアンケートの結果をもとに、具体例を用いながら結果や自分の考えをわかりやすく発表できる。

#### 5. 単元の評価規準（「話すこと [発表]」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉 比較を用いた文の構造を理解している。 〈技能〉 学校生活に関したアンケートの結果をもとに、具体例を出しながら比較して発表する技能を身に付けている。	ALT に自分達の学校生活について知ってもらうために、学校生活に関したアンケートの結果について、具体例を用いながら結果や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてわかりやすく発表している。	ALT に自分達の学校生活について知ってもらうために、学校生活に関したアンケートの結果について、具体例を用いながら結果や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてわかりやすく発表しようとしている。

6. 指導と評価の計画（8時間）

時間	ねらい（■）、言語活動等（丸数字）	評価			備考
		知	思	態	
1	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>■2つのものを比べて説明する。</p> <p>①自己目標を設定する。</p> <p>②教科書の対話文で使われている比較の構造と意味を理解する。</p> <p>③ペアで身近なものを比べ、自分の考えを伝え合う。</p>	<p>記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かす。</p>			
2	<p>■もっとも程度が高いものについて説明する。</p> <p>①教科書の対話文で使われている最上級の構造と意味を理解する。</p> <p>②ペアで身近なものの中でもっとも程度が高いものについて伝え合う。</p>				
3	<p>■同じ程度のものについて説明する。</p> <p>①教科書の対話文で使われている同格の構造と意味を理解する。</p> <p>②ペアで身近なものを比べ、自分の考えを伝え合う。</p>				
4	<p>■対話文を読み、引用するなどしながら、2つのものを比べ、それについて考えたことを伝え合う。</p> <p>①教科書の対話文を読み、内容を理解する。</p> <p>②対話文の内容を引用しながら、ペアで学校生活に関する2つのものを比べ、それについての考えを伝え合う。</p> <p>③学校生活に関するアンケートの質問を作る。</p>	○			<p>〈活動観察〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>比較表現を使用しなければならぬ文脈で用いることができる。</li> </ul>
5	<p>■対話文を読み、引用するなどしながら、もっとも程度の高いものを説明し、それについて考えたことを伝え合う。</p> <p>①教科書の対話文を読み、内容を理解する。</p> <p>②対話文の内容を引用しながら、ペアで学校生活に関するものでもっとも程度の高いものを伝え、それについての考えを伝え合う。</p> <p>③学校生活に関するアンケートの質問を作る。</p>	○			<p>〈活動観察〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最上級の表現を使用しなければならぬ文脈で用いることができる。</li> </ul>
6	<p>■文章を読み、引用するなどしながら、同じ程度のものを説明し、それについて考えたことを伝え合う。</p> <p>①教科書の発表文を読み、内容を理解する。</p> <p>②発表文の内容を引用しながら、ペアで学校生活に関する2つのものを比べ、それについての考えを伝え合う。</p> <p>③学校生活に関するアンケートの質問を作る。</p>	○			<p>〈活動観察〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同格の表現を使用しなければならぬ文脈で用いることができる。</li> </ul>

7	<p>■学校生活に関するアンケートの結果をもとに、自分の考えなどを交え、発表の練習をする。</p> <p>①グループで自分たちが選んだジャンルのアンケート結果について話し合い、自分たちの考えを交えながら、発表の原稿を作成する。</p> <p>②自分の考えがわかりやすく伝わるように練習する。</p>	○	○	○	<p>〈活動観察〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活に関するアンケートの結果をもとに、自分の考えを交え、わかりやすい内容にしようとしている。</li> </ul>
8 本時	<p>■学校生活に関するアンケートの結果をもとに、自分の考えなどを交え、発表する。</p> <p>①グループごとに、学校生活に関するアンケートの結果をもとに、自分の考えなどを交え、発表する。</p> <p>②良かった点や感想を共有する。</p>			○	<p>〈活動観察〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活に関するアンケートの結果をもとに、自分の考えを交え、わかりやすく発表できている。</li> </ul>
後日	<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あなたはどっち派？」の内容を変えたものについて、事実を比べ、自分の考えを加えたまとまりのある文を書く。</li> <li>・自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</li> </ul>	○			

7. 本時の活動（第8時）

(1) 目標

ALT に自分達の学校生活について知ってもらうために、学校生活に関するアンケートの結果をもとに、具体例を用いながら自分の考えをわかりやすく発表できる。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価の場面	評価方法
2分	1 挨拶をする。	・簡単なやり取りをし、緊張をほぐさせる。		
6分	2 Small Talk を行う。	・自分のことを話しやすい雰囲気づくりに努める。		
4分	3 本時の目標について知る。	・本時の目標と流れを生徒と確認する。		
ALT に自分達の学校生活について知ってもらうために、学校生活に関するアンケートの結果をもとに、具体例を用いながら自分の考えをわかりやすく発表できる。				
5分	4 発表の内容を確認する。	・自信をもって発表できるように確認させる。	態	活動観察
23分	5 グループごとに学校生活に関するアンケートの結果をもとに、自分たちの考えを発表する。	・タブレットを活用しながら、目線や声の大きさ、発音などに気を付けさせながら発表させる。		
7分	6 発表した感想や他のグループの発表で良かった点を振り返る。	・グループや全体で良かった点を共有させる。		
3分	7 本時の振り返りをし、挨拶をする。	・生徒の良かった点を伝える。		

(3) 評価及び指導の例（話すこと[発表]）

「十分満足できる」と判断される状況 (a)	学校生活に関するアンケートの結果をもとに、具体例を用いながら結果や自分の考えをまとめ、聞き手にわかりやすく伝える発表をしている。
「おおむね満足できる」状況 (b) を実現するための具体的な指導	既習表現を確認し、学校生活に関するアンケートの結果をもとに、具体例を用いながら結果や自分の考えをまとめ、聞き手にわかりやすく伝える発表ができるよう支援する。
「努力を要する」状況 (c) と判断した生徒への事後指導	個別指導をして、自分の考えや事実などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝える表現を再度確認し、「おおむね満足できる」(b) を達成できるようにする。